

# 夏野菜の収穫つぎつぎと！

## あさげ新聞



野菜が収穫時期となり、レタス、キャベツ、玉ねぎ、ダイコン、小松菜と収穫ラッシュが続きました。社員の皆さんからは「キャベツがやわらかくて美味しかった」や「玉ねぎが高い時期に嬉しい」などの嬉しい感想を頂きました。

(右の写真は早生キャベツ「レンヌ」の収穫風景)

1. 稲作事業

- ・土手の草刈りと刈り取った雑草を畑通路へ敷き詰め
- ・倒伏対策用ケイ酸カリの散布

2. 園芸事業

【野菜栽培】

- ・レタス、キャベツ、玉ねぎ、ダイコン、小松菜、キュウリの収穫／出荷
- ・栽培ネットへキュウリの誘引
- ・マイカー線によるナスの誘引
- ・トマト雨よけ対策

・第二期キュウリの種蒔き、定植

【トウモロコシ栽培】

- ・第四期出荷分の定植
- ・トウモロコシ株元の除草
- ・トウモロコシの消毒

【ほおずき栽培】

- ・芽掻き、除草、畝間への切り藁敷き
- ・ほおずきの消毒

3. 薬草事業

【センブリ栽培】

- ・二次栽培センブリ畑へ肥料散布
- ・山菜事業
- ・新規わらび畑の草刈り

5. 蕨細工事業

- ・水引きの新作出展

6. 他の出来事

- ・ドローンライセンス取得

六月十五日～十九日の五日間で、ドローンライセンス取得に向け、あさげの里から二名が受講しました。

地域共生推進室 発行  
【21号】  
2022年7月7日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！

mail ;  
ta-hara@koaglobal.com

二名ともに学科試験、実技試験に無事合格しました。

【あさげの里を飛びまわるドローン】



### 稲作事業 倒伏防止

水田では稲株を太くし倒伏防止を目的に、けい酸加里を十七枚の田んぼに散布しました。

今年新しく導入した動力散布機は背負うのに重量はありますが、散布飛距離が三十メートルあり、畔から散布でき作業軽減につながりました。

【セル付き動力散布機で散布】



### 園芸事業 野菜栽培

六月十四日、玉ねぎが収穫の適期を過ぎて、雨が降る中でしたが、慌てて収穫をしました。水田の代かきや田植えで忙しく、玉ねぎに手が回らず小ぶりでしたが一個平均二百グラムの玉ねぎが九百十一個収穫出来ました。

玉ねぎの五月末の平均小売価格は一キロ当たり五三四円と、平年の二倍

する中で、社員の皆さんから大変喜ばれました。

【雨で汚れた玉の拭き作業と選別】



・六月十六日、ダイコンを収穫しました。間引き作業が遅れ、ダイコンが大きくなる心配をしていましたが、平均千三百グラムのダイコンが百九十五本収穫できました。収穫後水路で下洗いし、水道水で仕上げ工場に出荷しました。昨年より、大きく真直ぐなものが取れ、水はけの良い土壌に変更した事と高畝が成功要因です。

【ダイコンの収穫風景】



六月三十日、第二期となるキュウリ「夏すずみ」を、二百七本定植しました。

キュウリ畑には五月に定植した第一期分と合わせて、四百二十三本が植わりました。定植時期をずらす事で、長い期間キュウリが収穫できます。

今年は第三期まで栽培を計画しており、間もなく種蒔きしハウス内に定植します。

また今年はキュウリの加工品の販売を計画しており、調理場が整備出来しだいチャレンジしていきます。

【第二期のキュウリ定植】



六月二日、道の駅「蔵」の南側に新しく借りた畑に、第四期出荷分の「あんみつ姫」千六十二本を定植してみました。この畑は水はけが悪く根腐れが心配な事から、定植を中断していました。

【水はけが悪い新しい畑】



そんな折、地域の方から更に新しい畑の提供の話を受取り、トラクターで起こし肥料を入れマルチを張り、千七百十六本を定植し、また残りの苗千五百八本も、秋野菜用の畑に急遽マルチを張り定植しました。

【急遽秋野菜畑にマルチ張り】



今年のとらもちの定植は、第二期出荷分五千六百六十八本、第二

期出荷分五千二十二本、第三期出荷分五千七十二本、第四期出荷分四千二百八十六本の、総数二万四千八本になりました。

### センブリ栽培

六月七日、昨年の春に種蒔きをしたセンブリが、八月の長雨で葉枯れとなり、畝の半分が消滅する中、今年は同じ失敗を繰り返さないように予防の殺菌剤を消毒しました。



### 山菜事業

ワラビ畑の面倒を見て頂きたいとの依頼を受けて、草刈りを行いました。敷地は三反歩あり二年ほど放置されていた為、くるみの木まで生い茂っていました。チェンソーも出動し全員で草刈りを行いました。



### 蕨細工事業

水引き細工の販売強化で、楽天市場、インスタグラム、Minné、あさげの里のホームページに掲載販売中。



